

演劇「Touch～孤独から愛へ」の鑑賞

5月13日（金）に、本校体育館で、東京演劇集団 風の皆さんの劇を鑑賞しました。

実は、この観劇は2年前に予定されており、コロナウイルス感染症の広がりの中、今まで延期を繰り返してきましたが、生徒の皆さんが優れた文化的なものに触れる大切な機会ととらえ、できうる限りのコロナウイルス感染症対策を講じての開催となりました。

当日は、体育館の中に素晴らしい舞台がセットされ、開演前からその世界に圧倒されました。



観劇後の生徒の感想を一部紹介します。

- ・今日はお越しいただき本当にありがとうございました。とても感動しました！トリートとフィリップの兄弟愛、血のつながりがなくても愛が伝わってくるハロルドの気遣い、トリートとフィリップがハロルドに会ったことによる成長がすごいと思いました。
- ・最初はトリートとフィリップの兄弟の楽しそうな雰囲気だったのに、ハロルドという人物が加わることで一気に物語が変わっていくところがすごくワクワクしました。最後のシーンで、トリートが心の底で思っていたことを吐き出せた気がします。
- ・学校で演劇を見るのは初めてで楽しみにしていました。兄弟のシーンで日常的なものを感じました。ハロルドとの出会いは面白かったし、出会った後の兄弟が細かく演じられていました。兄であるトリートの激しくゆさぶられる心情に心が痛くなりました。3人の想い、どれもが心に響きました。勝手に涙が出てしまいました。3人の劇とは思えないほど作品に集中してしまいました。
- ・本当に素晴らしい演劇でした。ハロルドが登場して二人と仲を深めていくうちに、トリートが少し心を開いていたように感じたし、一人で大人になっていくフィリップを必死で止めようとして、寂しさや、愛に飢えているトリートに、とても胸が締め付けられました。自分の今いる環境に日々感謝したいし、人は変われるということを改めて感じる事ができた本当に素晴らしい演劇でした。

生徒にとって心に残る行事となりました。「東京演劇集団 風」の皆さん、本当にありがとうございました。